

臨床研究のお知らせ(説明文書)

薬局薬剤師による腎排泄型薬剤の服薬支援の現状と改善課題の検討

1. 研究の目的・意義

日本の成人の8人に1人が慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease : CKD）であると言われ、このような患者さんに腎排泄型薬剤が処方された場合には、腎機能の程度に応じて薬剤の用法・用量の調節が必要となる場合があります。

腎機能を評価するため、推算糸球体濾過量（eGFR）や Cockcroft-Gault 式により推算された推算クレアチニンクリアランス（CCr）が用いられていますが、一方で、これらの特徴を理解しないと、腎機能に関する血清クレアチニン値などの検査値情報を入手できたとしても、誤った腎機能評価をしてしまう可能性が示唆されています。

そこで、株式会社名北調剤の薬局に勤務する薬剤師を対象に、腎排泄型薬剤の服薬支援の現状についてアンケート調査を行い、服薬支援の改善課題を明らかにすることを目的に調査を行います。

2. 研究の対象・方法

2021年4月～5月までの期間に、株式会社名北調剤の薬局に勤務する薬剤師のうち、本研究の目的に同意をしていただいた方を対象に、腎排泄型薬剤の服薬支援の実態に関する Google Forms を用いた Web 方式によるアンケート調査を行います。アンケート調査では、回答者の性別、年代、薬剤師の実務経験年数などの基本情報、回答者の自己評価に基づいた腎排泄型薬剤の服薬支援の現状について調査を行います。また、調査結果を解析することで、腎排泄型薬剤の服薬支援の改善課題を明らかにします。

3. 研究への参加とその撤回について

今回の研究への参加は、本研究の主旨を記載した説明文書の内容を理解し、同意をいただいた方を対象とします。研究への参加は、自由意思であり、辞退されても不利な扱いを受けることは一切ありません。アンケート調査の回答をされない場合には、本研究への参加を辞退したものとみなします。

4. 個人情報の保護について

今回のアンケート調査では、回答者の氏名や生年月日などの調査は行わないため、個人情報が特定されることはありません。本研究により得られた調査結果の取り扱いに

は十分注意し、愛知学院大学薬学部臨床薬学講座において、それぞれパスワードを設定したファイルに記録し、USB メモリに保存して、鍵のかかるキャビネットに保管します。

5. 研究結果の公表について

この研究で得られた成果は、国際・国内学会発表や論文発表を予定しております。その際、個人を識別できる情報は一切含みません。

6. 研究の資金

この研究は、講座の研究費を用いて実施します。研究の計画、実施、報告において、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反はありません。

7. 研究を担当する薬剤師および健康被害が発生した場合の連絡先

この研究のことで何か分からないことや心配なことがありましたら、いつでも、こちらに記載されている薬剤師または相談窓口にお尋ねください。

研究責任者(薬剤師): 講師・渡邊法男

連絡先: 052-757-6766 (愛知学院大学薬学部臨床薬学講座)